

## CCヒーロー

(一般名 コンクリート色つや消し塗料)

- 特長

- コンクリート色にこだわった水系つや消し塗料です。
- 通常の CC ヒーローのほかに、コンクリート基礎の透湿性を高める「基礎コンガード」、シロアリの侵入を避ける「しろありガード」、雑草の繁茂を抑制する「雑草ガード」、ねずみ害を防ぐ「ねずみガード」等のバリエーションがあります。

- 一般的性状

項目	内容
外観	コンクリート色 粘調性液体
主成分	アクリル樹脂エマルジョン、酸化チタン
溶媒	水

- 施工仕様

工程	材料・その他	希釈割合 (質量比)	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )	工程間隔時間	
1	素地調整	十分に乾燥させる。 汚れ・付着物・突起物等を除去する。 浮き、硬化不良、その他の脆弱部分を補修する。			
2	下塗り	サンクラシープライマー	100	0.05~0.1	4 時間
3	上塗り (1 回目)	CCヒーロー	100	0.08~0.12	4 時間
		水	0~10	-	
4	上塗り (2 回目)	CCヒーロー	100	0.08~0.12	16 時間
		水	20~30	-	

- 推奨施工器具

スプレー、ローラー、刷毛等

- 注意事項

- ① 工程間隔時間は次工程の塗装を行うために必要な最低限度の時間です。この時間を経過した後に次工程に入ってください。なお、工程 4 の工程間隔時間は最終養生時間です。
- ② 塗装から乾燥までの温度は 5℃以下とにならないようにしてください。同様に、湿度は 80RH% 以上とにならないようにしてください。
- ③ 強制乾燥を行う場合は 80℃以下で行ってください。

- ④ 開缶後は当日中に使い切ってください。翌日使用はしないでください。
- ⑤ 24 時間以内に降雨降雪が予想される場合は施工を避けてください。
- ⑥ 保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用して取り扱ってください。
- ⑦ 使用前に最新の安全データシート（SDS）をご確認ください。
- ⑧ ホルムアルデヒド発散建築材料として使用制限を受ける塗料は「ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を使用したもの」に限られま  
す（国土交通省告示第千百十三号）。本製品にはこれらの対象物質を使用していません  
（F☆☆☆☆相当）。
- ⑨ コンクリート下地にはサンクラシープライマーを、金属下地の場合にはサンエポプライマーWを  
下塗りとしてご使用ください。
- ⑩ プライマーは基材により最適なものを選定してください。詳細は各製品のTDSをご覧ください。
- ⑪ しろありガード、雑草ガード、ねずみガードは農薬、医薬部外品、動物用医薬部外品ではあり  
ません。

● 技術データ

試験項目	試験方法	結果
付着性（クロスカット法）	JISK5600-5-6 に準拠	0/25（剥離なし）
耐湿潤冷熱繰返し性	JISK5600-7-4 に準拠	異常なし
透湿性（カップ法）	JISZ0208 に準拠	139 g/m <sup>2</sup> ・24hr
促進耐候性 （キセノンランプ法）	JISK5600-7-7 に準拠	ΔE = 2.5 （1000 時間）
指触乾燥時間（5℃）	自社法	2 時間
透水性 B 法	JISA6909 に準拠	0.03 ml
透湿度	JISZ0208 に準拠	371 g/m <sup>2</sup> ・24hr
シロアリ忌避性	自社法	効果あり
ねずみ忌避性	自社法	効果あり
雑草繁茂抑制性	自社法	効果あり

注）上記の数値は代表値であり、製品の規格値ではありません。

シロアリ忌避性（CCヒーロー・しろありガード）

通常の塗料



活発に活動

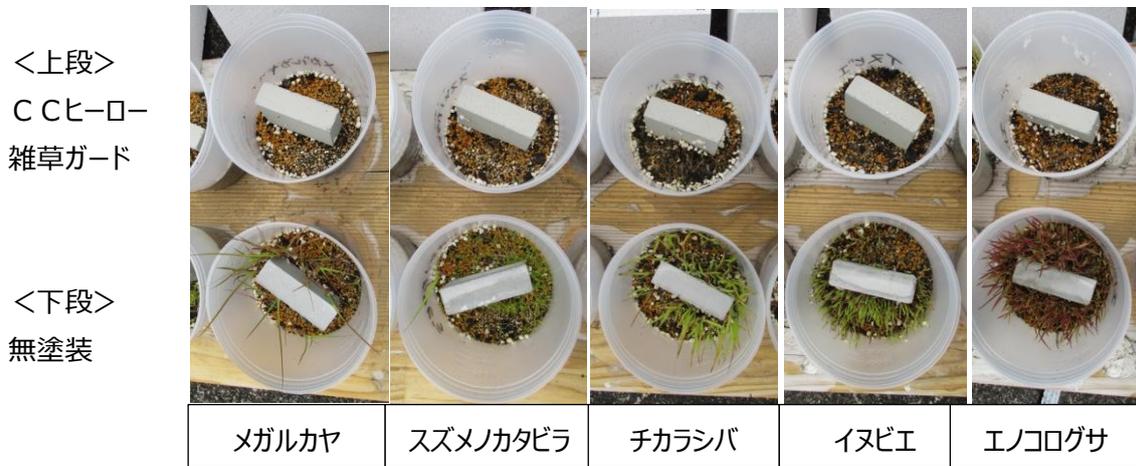
CCヒーロー・しろありガード



ほとんど動かない

塗膜表面にシロアリを置いて、  
3 時間経過した状態。

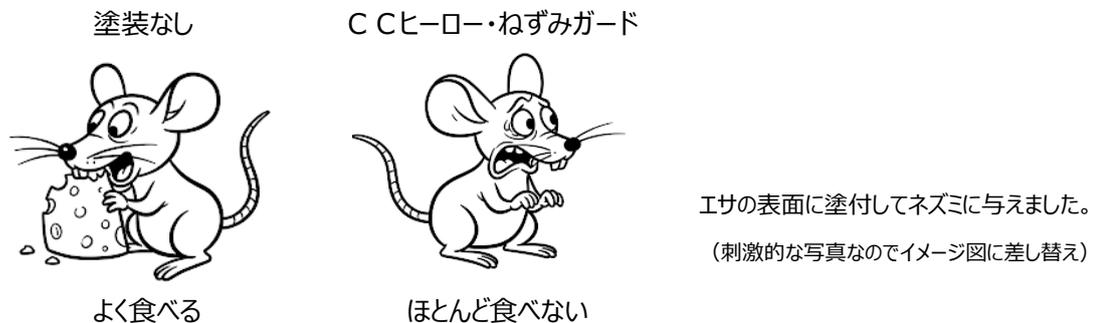
雑草繁茂抑制性（CCヒーロー・雑草ガード）



写真中央のモルタル板表面にCCヒーロー・雑草ガードを塗付してあります。

工場の外構や工場建屋の基礎等に塗付することで、美観を向上させると同時に草刈の頻度を少なくすることが期待できます。

ねずみ忌避性（ねずみガード）



1. 本資料の内容は予告なく変更する場合がございます。最新の情報は弊社 HP (<https://www.chemicalco.jp>) でご確認ください。
2. 本資料に記載された事項は、細心の注意を払って行った試験に基づくものですが、実際の現場作業の結果をすべて確実に保証するものではありません。また、使用上の特許等の権利抵触のないことを保証するものではありません。
3. 当社の製品は、一般工業向けに開発・製造された化成品です。人体に摂取される用途には使用しないでください。